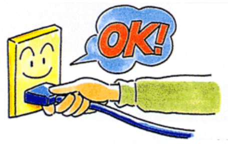
電気に関する対策

電気は使い方を間違えると火災や感電を起こし非常に危険です。安全に暮らすためにも正しく使うことが大切です。

電気設備の安全点検

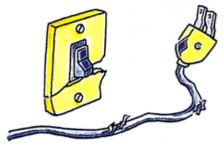
1 正しいプラグの取扱い方法

a.プラグのさし込みはまっすぐ、しっかりと



さし込みプラグを、コンセントに中途半端にさし込むのは危険です。
必ずまっすぐ、しっかりとさし込みましょう。

b.こわれたスイッチやプラグは、取替えて

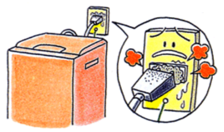


ゆるくなったり、こわれたスイッチやプラグをそのまま使っていると、感電や火災の原因になります。
すぐに取替えましょう。

c.コードは引っ張らないでプラグを持って

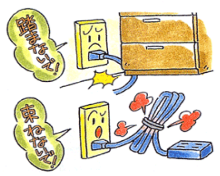
コードを引っ張って抜くと、プラグのネジ締め部分やコードをいため、ショートさせたりプラグをこわします。
必ずプラグを持って抜きましょう。

d.コンセントとプラグの間のほこりや湿気は、取り除いて



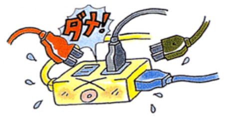
冷蔵庫や洗濯機などを、長期間さし込んだまま使用するとプラグとコンセントの間にほこりや湿気がたまり、漏電や火災の原因になります。
ときどきプラグをはずして乾いた布でほこりや湿気を取り除きましょう。

2 コードは踏んだり、束ねたりしないで



机・椅子などの家具や調度類がコードを踏んでいると、中の線が切れたり被覆が傷んでショートや漏電の原因になります。
コードを束ねたり、折り曲げたままで使用した場合、熱を持ち火災の原因になることがあります。コードは束ねたまま使わないようにしましょう。
コードを踏みつけないようにしましょう。

3 タコ足配線は危険がいっぱい



テーブルタップで一度にたくさんの電気機器を使用するタコ足配線は過熱して危険です。コンセントをふやして安全に使いましょう。

4 ぬれた手でさわらないように

水は電気を通しやすく、ぬれた手でスイッチやプラグなどにふれるのは危険です。手をよくふいてから扱いましょう。

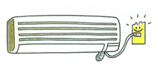
5 アースを取付けましょう

洗濯機、衣類乾燥機、食器洗い機、冷蔵庫、エアコン、電子レンジ、池の循環ポンプなどには、必ずアースを取付けましょう。
アースは、電気機器のケースなどに電気が漏れたとき、感電のショックをやわらげます。
また、家屋の新増築時には、接地端子付のコンセントを取付けておくと便利です。

6 スイッチの切り忘れは事故のもと

電気器具を使用し終わったり、途中でその場を離れる時は必ずスイッチを切り、プラグをコンセントから抜きましょう。
アイロン、ヘアドライヤーなどの熱器具はとくに注意しましょう。

7 専用コンセントを取付けて



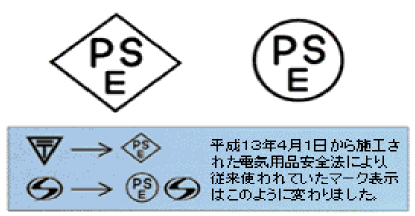
エアコン、電子レンジ、衣類乾燥機など、消費電力の大きい電気器具を使用するときは、専用のコンセントから使ってください。

200ボルトパワーで快適ライフ
200ボルトは100ボルトに比べてだんぜんパワフル。200ボルト機器を使用すれば、これまで時間のかかっていたいろんな事もラクラクこなせます。
新築時はもちろん増改築の際には、200ボルト機器がつかえるよう専用回路を設置しておきましょう。

8 電気器具を使う前には必ず取扱説明書を

電気器具を買うと、取扱説明書がついてきます。正しく安全に使うためには、これをよく読むことが大切です。
取扱説明書は、手近なところにまとめておくと便利です。

9 このマークをご存じですか?



このマークは、電気器具をはじめコンセントやコードなどについています。これは安全の目印で、国が定めている基準に適合することを確認したものに表示するマークです。電気器具は、このマークが入ってものを、正しく使用しましょう。

照明器具の安全点検

ちゃんと点灯していますか？

●スイッチを入れても、点灯しない時がありませんか。
●コードを動かすと点灯したり、しなかったりしませんか。
●ランプや点灯管を交換しても点灯しませんか。

変な音がしませんか？

●点灯中に異常なうなり音がしませんか。
ただし、点灯・消灯時のプラスチックカバーなどの膨張・収縮による摩擦音は異常ではありません。

こげくさいニオイがしませんか？

●点灯中に異常なこげくさい臭いがしませんか。

キズやヒビ割れはありませんか？

●コードにキズや傷みはありませんか。
●ガラス、プラスチック部品などに、変色・変形・ヒビ割れなどが発生していませんか。(照明器具への殺虫剤噴霧はヒビ割れの原因になります。)

異常に熱くなったりしませんか？

●本体、コード、プラグなどが異常に熱くありませんか。

がたつき・ゆるみはありませんか？

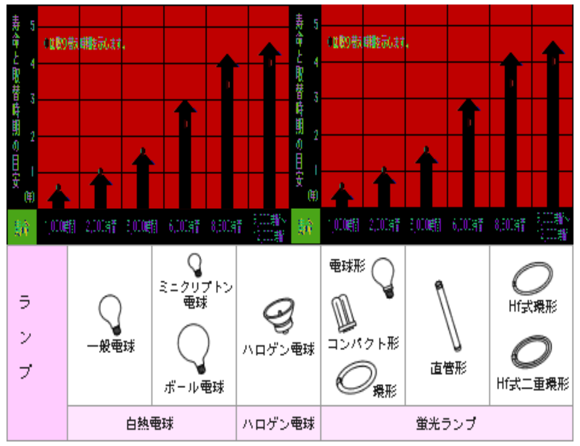
●器具本体、天井との取り付け部、接合部に異常な「がたつき」、「ゆるみ」はありませんか。

照明器具の取替時期は、8年～10年が目安です。

カバーが変色したり、ヒビが入ったまま使っていると、明るさが低下して、かえって不経済になります。目には見えなくても、器具の本体や部品が老朽化し、漏電などで思わぬ事故の心配にもつながります。安全に使うためにも8～10年が取り替えの目安です。

ランプの寿命と取替えの目安。

ランプの取替時期は下表のように半年～4年が目安です。(1日5～6時間点灯の場合)
点灯管もランプと一緒に交換することをお勧めします。
蛍光灯は点灯中よりも始動時に消耗が激しいため、点灯回数が多いと寿命が短くなります。



［社団法人　日本電球工業会の資料より］

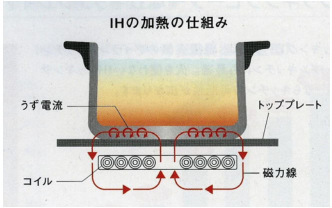
安全・安心・快適に

夜間、廊下の足元を照らし、安心を確保。

■人感センサ付フットライト

人が近づくと作動する熱感知センサを内臓した照明器具です。
必要な時だけ自動的に点灯するので、消し忘れもなく便利で経済的です。

今注目を集めている「IHクッキングヒーター」



IHクッキングヒーターは、コイルに電流を流し、そこで発生する磁力線の力を借りて鍋自体を発熱させます。紙類やふきんなどが乗っていても引火しません。
温度センサーやタイマー機能も付いているので、消し忘れによる事故をふせげます。